

特定小電力無線機 ST#722LG ST#722SH 簡易取扱説明書

このたびは、特定小電力無線機 ST#722LG / ST#722SH をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
お買い上げいただきました製品に、万が一不審な点、お気付きの点などがありましたら、なるべくお早めにお買い上げいただきました販売店または弊社営業所へお問い合わせください。

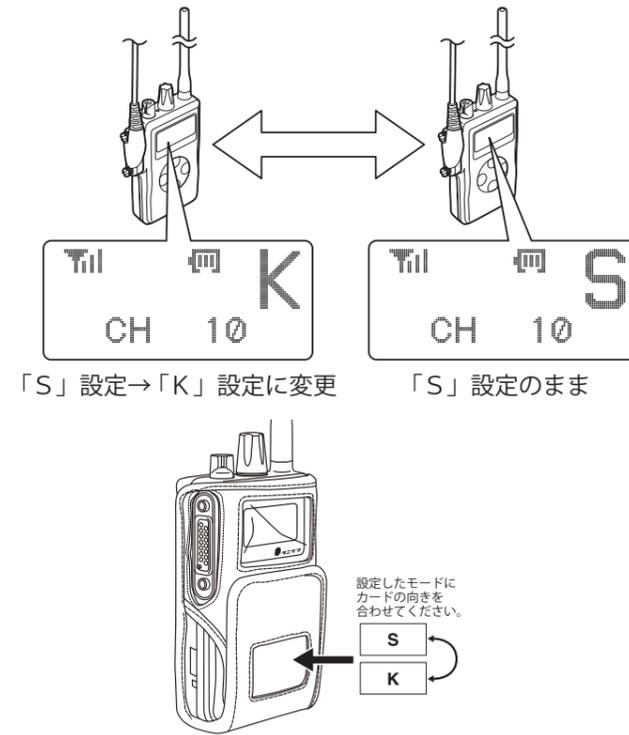
この取扱説明書は、マニュアルモードでの使用方法になります。本機の詳細な使い方やモードの変更方法などは、詳細取扱説明書をご覧ください。詳細取扱説明書をご覧になるには、付属の「詳細取扱説明書」と書かれた CD-ROM をパソコンに入れてご覧ください。

株式会社谷沢製作所

〒104-0041 東京都中央区新富 2-8-1 キンシビル
http://www.tanizawa.co.jp
03-3552-5581 受付時間 9:00 ~ 17:00 (土、日、祝祭日を除く)
Printed in Japan 2011/05 00M88AC851010 E311-001

ご使用になる前に

本機は、はじめにSとKの設定が必要になります。
工場出荷時は、Sに設定されています。
※詳細は裏面をご覧ください。



安全上のご注意

- ご使用前に必ずこの「安全上のご注意」と「簡易取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは保証書と一緒にいつでも取り出せる場所に保管してください。
- ご購入日は保証書に記載されたお買い上げ年月から起算します。お買い上げ年月が記入されていなければ工場出荷年月からとなります。

絵表示について

この「安全上のご注意」では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。下記の項目をよくご理解いただき、本文をお読みください。

	警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

- △記号は注意・危険を促す内容があることを告げるものです。左図の場合は、一般的な注意が描かれています。
- ⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。左図の場合は、一般的な禁止行為が描かれています。
- 記号は使用者の行為を指示することを告げるものです。左図の場合は、一般的な指示が描かれています。

警告

- 自動車などの運転中は本機を操作しないでください。安全運転の妨げとなり、事故の原因となります。
- 当社指定の充電器以外で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本機で使用できるのは、当社指定の充電式カセット電池または乾電池ケースのみです。
- 本機を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 充電式カセット電池または乾電池ケースは分解しないでください。充電式カセット電池または単4形アルカリ乾電池を漏液・発熱・破裂させる原因となります。
- 万一、本機の内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源を切って販売店または弊社営業所にお問い合わせください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- 万一、異物が本機の内部に入った場合は、まず機器本体の電源を切って販売店または弊社営業所にお問い合わせください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- 万一、本機を落としたり、破損した場合は、まず機器本体の電源を切って販売店または弊社営業所にお問い合わせください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- 濡れた手で本機を充電器に取り付け・取り外ししないでください。感電の原因となります。

安全上のご注意(続き)

警告

- 本機は IPX7 相当の防水構造になっていますが、長時間本機を水で濡らしたり、水につけたり、水道やシャワーなどの水流を長時間直接かけないでください。また、温水や界面活性剤等が入った水の中に浸けないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本機の上や近くに水などの入った容器、または小さな金属物を置かないでください。水や金属物などがこぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電・故障の原因となります。
- 充電端子に水滴がついたまま充電しないでください。火災・故障の原因となります。
- 本機、充電式カセット電池、または使用済みの単4形アルカリ乾電池は火中へ投げ入れないでください。爆発して火災・やけどなどの原因となります。
- 本機、充電式カセット電池、または乾電池ケースの端子をショートさせないでください。発熱によりやけどの原因となります。充電式カセット電池、または乾電池ケースを単品で持ち歩くとショートさせる原因となります。

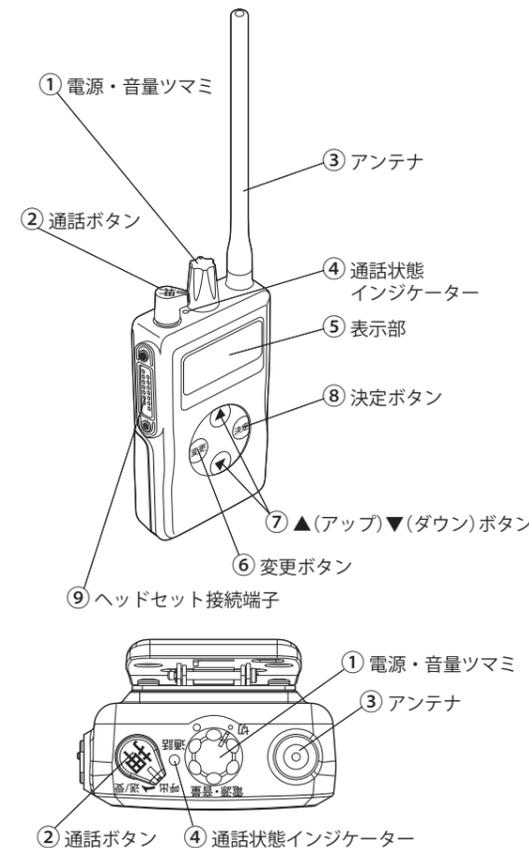
注意

- 本機の分解は、電波法で禁止されていますので絶対に行わないでください。改造した機器を使用した場合、電波法により罰せられますのでご注意ください。

注意

- 本機は、特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則(証明規則)第2条8号「工事設計の認証(認証)を受けた無線局」です。本機の背面に貼られている証明ラベルは絶対にはがさないでください。はがすと電波法上無線機とは認められなくなります。
- 本機は、国内専用です。国外では使用できませんのでご注意ください。
- 航空機内、空港敷地内、新幹線車両、病院などの、使用を禁止された場所では、本機の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を及ぼす恐れがあります。
- お手入れの際は安全のため電源を切ってください。また、アルコール・ベンジン・シンナーなどの溶剤を含んだ布で拭かないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、高温になる場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- 乳幼児の手の届かないところで、使用・保管してください。
- 不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けが・故障の原因となることがあります。
- 振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けが・故障の原因となることがあります。
- 付属の「詳細取扱説明書」と書かれた CD-ROM は、パソコンで音楽再生しないでください。また、CDプレーヤー等でも再生しないでください。大きな音が出て耳やスピーカーを傷めたりすることがあります。

各部の名称と説明



①電源・音量ツマミ

- このツマミを時計方向に回すと電源が入ります。さらに回すと音量が大きくなります。
- このツマミを反時計方向に回すと音量が小さくなります。さらに反時計方向に回し切ると、電源が切れます。

②通話ボタン

- このボタンを押している間、送信状態(呼び出し状態)になります。放すと受信状態に戻ります。
- このボタンを押しながら、時計方向に90°回すと、ボタンがロックされ、連続して通話ができる状態になります。

③アンテナ

- アンテナは、着脱できない構造になっています。

④通話状態インジケータ

赤色点灯	通話中(送受信中)
緑色点灯	受信(受信のみ)
橙色点灯	呼び出し中(MCAモード時のみ)

⑤表示部

- チャンネルや電波の強さ、電池の残量の目安が表示されます。

⑥変更ボタン

- このボタンを押して、チャンネル、モード・設定を変更できる状態にします。

⑦▲(アップ)▼(ダウン)ボタン

- このボタンを押して、チャンネル、モード・設定を変更します。

⑧決定ボタン

- このボタンを押して、変更したチャンネル、モード・設定を決定します。

⑨ヘッドセット接続端子

- この端子にヘッドセットを接続します。

特長

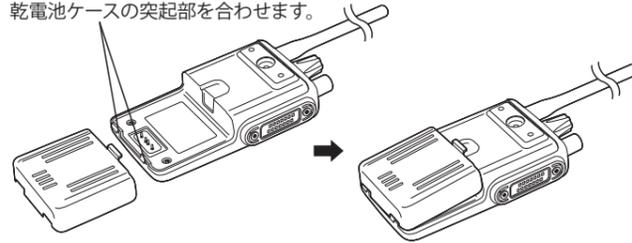
- 本機は、電波法施行規則第6条「特定小電力無線局」に該当する400MHz帯同時通話型携帯無線機で、特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則(証明規則)第2条8号「工事設計の認証(認証)を受けた無線局」です。免許および申請手続きは一切不要ですので、お買い上げいただいたその日からご使用になれます。
- 同時通話型携帯無線機なので、電話のように相手の声を聞きながら通話ができます。
- 通話モードにはマニュアルモードとMCAモードがあります。マニュアルモードでは、相手機とチャンネルを合わせて通話します。MCAモードでは、自機、相手機各々にあらかじめ設定されているジブ番号を使って、相手機を呼び出して通話します。
- IPX7相当の防水構造になっていますので、雨の中でもご使用いただけます。ただし、本機をご使用中に濡れた場合は、ご使用後なるべく早く水を拭き取ってください。
※ IPX7の保証期間はご購入より1年です。
※ ヘッドセット、充電式カセット電池、乾電池ケースはIPX7ではありません。各製品の取扱説明書をご覧ください。
- 電波の強度を4段階(圏外表示含む)のレベルで表示します。
- 電池残量表示を装備していますので、電池消耗度合の目安を知ることができます。
- バックライト機能付きです。ボタンを押すと一定時間表示部にバックライトが点灯し、暗い中での操作もおこなえます。
- マニュアルモードの他に、お使いになるシーンに合わせて色々なモードが用意されています。
- ST#722LG(アンテナロングバージョン)の他、胸ポケットなどに入れてもアンテナが邪魔にならない、ST#722SH(アンテナショートバージョン)(受注生産品)のご用意もあります。
- ST#722SHはST#722LGと機能は同じです。取扱説明書の内容はST#722LGと変わりませんので、この取扱説明書ではST#722LGを例に説明していきます。

マニュアルモードでの使用方法

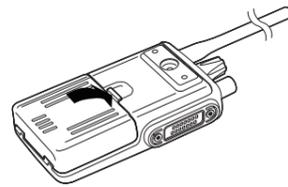
① 電池を取り付ける

① 本体のミゾと電池の突起部を合わせる

このミゾに充電式カセット電池または乾電池ケースの突起部を合わせます。



② 電池をカチッと音が鳴る位置まで押す

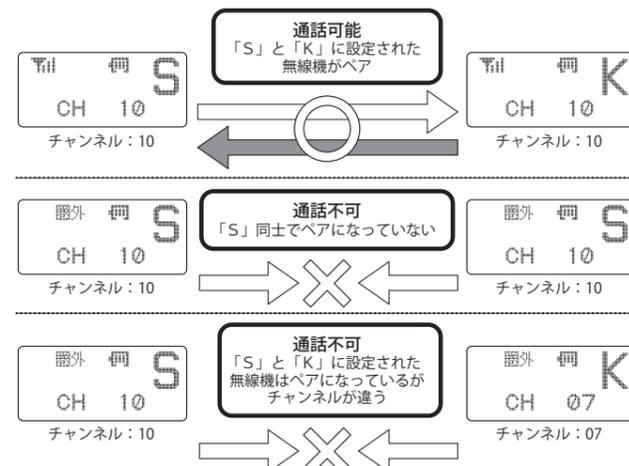


- 充電式カセット電池は、十分に充電してからご使用ください。
- 充電式カセット電池の充電方法は充電器の取扱説明書をご覧ください。
- 乾電池でご使用の際は、必ず乾電池ケースに同じ種類の新しい電池を入れてご使用ください。

④ 無線機の設定

マニュアルモード

相手機とチャンネルを合わせて通話する、本機の基本的なモードです。お買い上げ時はこのモードに設定されています。本機は、あらかじめ「K」と「S」というモードへの設定が必要です。必ず「K」の相手機は「S」の無線機になりますので、ご注意ください。別機種(ST#702II-KやST#702II-S)とも通話することが可能ですが、必ず相手機と設定を合わせなければ通話できませんのでご注意ください。



⑤ K / S の設定を変更

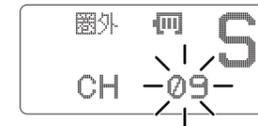
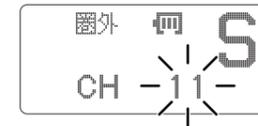
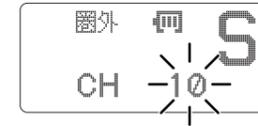
※ K、Sの設定変更を始める前に、電源を切っておいてください。

- ① [変更] ボタンを押しながら電源を入れる
- ② 「モードヘンコウ」が表示されたら、[変更] ボタンを放す
 - 「モードヘンコウ」が表示されるまえに、[変更] ボタンを放すと「モードヘンコウ」の表示にはなりません。
- ③ [▲] または [▼] ボタンを押して「K or S」を選択する
- ④ [決定] ボタンを押す
 - 「K」または「S」を選択する表示に変わります。
- ⑤ [▲] または [▼] ボタンを押して、「K」または「S」を選択する
- ⑥ [決定] ボタンを押して、変更した内容を決定する



⑥ チャンネルの変更

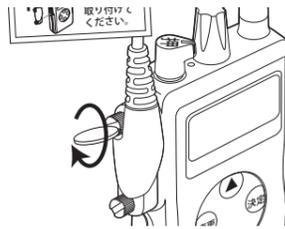
- ① [変更] ボタンを押す
 - チャンネルが点滅します。
- ② チャンネルを上げるには、[▲] ボタンを押す
 - チャンネルは、01 ~ 18 チャンネルまで設定できます。
- ③ チャンネルを下げるには、[▼] ボタンを押す
- ④ [決定] ボタンを押して、変更したチャンネルを決定する
 - チャンネルを変更した後、約10秒間何も操作を行わないと、チャンネルが自動的に決定されます。



② ヘッドセットを取り付ける

① ヘッドセットのコネクタの向きに注意して、ネジ2本を締める

- お買い上げ時に貼ってあるタグで上下の向きを確認してください。



② コネクタと無線機本体部分とのスキマがなくなるように固定する

- 硬貨で締めることができます。

注意

- ドライバーなどで締め過ぎるとネジをこわしてしまう恐れがありますのでご注意ください。
- きちんと締めていないと、防水効果が得られませんのでご注意ください。

③ 無線機の電源の入切 / 音量の調整

① 電源・音量つまみを時計方向に回すと電源が入る

② そのまま回転していくと、音量が大きくなる

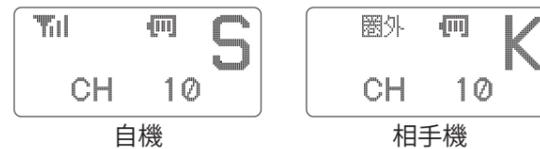
③ 電源を切るときは電源・音量つまみを反時計方向に回し切ると、電源が切れて、表示が消える



⑦ 通話の方法

受信するには

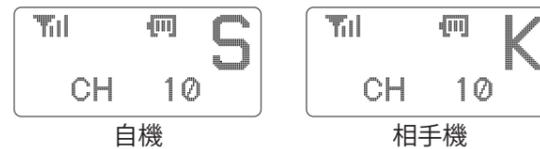
① 相手機が送信するのを待つ



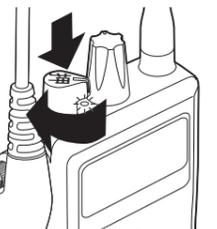
- 受信すると表示部に「Til」(受信強度)が表示されます。
- 電源・音量つまみ横の通話状態インジケータが緑に点灯し受信状態になります。
- 相手機の音声ヘッドセットから聞こえます。

送信するには

① [通話] ボタンを押しながら、時計方向に90度回し固定する



- 電源・音量つまみ横の通話状態インジケータが赤く点灯し、送信状態になります。
- [通話] ボタンを固定していない場合、[通話] ボタンを押している間だけ、通話できます。
- 「ピーピー」という警告音が出ているときは、他の人が同じチャンネルを使用していますので送信できません。チャンネルを変更してください。



通話状態インジケータ 状態別表示

赤色点灯	通話中(送受信)
緑色点灯	受信(受信のみ)

⑧ 702II-K や 702II-S とも通話できます

別機種の ST#702II-B、ST#702II-K や ST#702II-S とも通話ができます。

※ ST#702II-K、ST#702II-B と通話する場合は、本機を「S」に設定してください。

※ ST#702II-S と通話する場合は、本機を「K」に設定してください。